

Title	大野英二教授・献辞 (大野英二教授記念號)
Author(s)	山田, 浩之
Citation	經濟論叢 (1985), 136(4)
Issue Date	1985-10
URL	http://hdl.handle.net/2433/134107
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

經濟論叢

第136卷 第4号

大野英二教授記念號

献 辞	山 田 浩 之	
J. ハーバースマスにおける批判的社会理論の 倫理的基盤	平 井 俊 彦	1
競争・独占・独占禁止法	越 後 和 典	22
1932年のアネッリ提言をめぐる覚書	丸 山 優	39
19世紀末ドイツのオリエント認識	杉 原 達	60
第一次大戦期ドイツにおける住宅政策の展開	後 藤 俊 明	80
日中戦争前中国安徽省における茶統制政策	川 井 悟	111
リッカーとランプレヒト論争	奥 田 隆 男	130
中世イングランドの鋳貨	本 山 美 彦	149

大野英二 教授 略歴・著作目録

昭和60年10月

京都大學經濟學會

献 辞

大野英二先生は、本年10月20日に63歳の誕生日をお迎えになり、来春3月31日をもって本学を退官されることになりました。

先生は、昭和20年に京都大学経済学部を卒業されて、研究生活にお入りになり、翌年には経済学部助手に就任、講師・助教授を経て、昭和41年からは経済政策講座担任教授として研究・教育に力をつくされ、本学部の発展に貢献されました。

先生のご研究は、ドイツ金融資本の分析から出発して、ドイツ資本主義の総合的な解明へと発展し、その間、『ドイツ金融資本成立史論』（1956年）、『ドイツ資本主義論』（1965年）、『現代ドイツ社会史研究序説』（1982年）等のご労作を発表され、ドイツ資本主義研究に不朽の足跡を残されました。さらに、近年の先生のご関心は経済学の枠では収まりきれない広い領域に及び、一方では経済史をより大きな社会史の中に埋めこむ作業に取り組まれるとともに、他方では『河上肇全集』の編集や雑誌『歴史と社会』の編集に参画されて、近代日本及び世界の社会思想にも研究の射程をのばされており、先生はいまや人間と社会との関わり全体を研究領域に設定されつつあります。

先生はまた、日本やドイツの関係学会や研究団体において指導的役割をはたされ、国際的に若々しい芽を育てられました。先生の門下から優れた研究者が数多く輩出し、先生は教育者としても、すばらしい業績をあげられました。

行政面では、昭和40年代から50年代にかけて、先生は京都大学評議員、経済学部長の重責を担われました。きわめて苦しい時期に本学部を支えられたことに対する本学部構成員の感謝の念はまことに深いものがあります。

京都大学経済学会は、先生の多年にわたる学恩に謝意を表すべく、『経済論叢』の月号を記念号として編集することになりました。先生のご指導を受けられた方々の意欲的な労作を集めて、ご退官を記念する論文集を編み、先生に捧げることができましたことは、わたくしども一同のこの上ない喜びであります。

先生が、今後ますますご清祥におすごしになり、ご研究を発展されますことを心からお祈りいたします。

1985年10月20日

京都大学経済学部長 山 田 浩 之

大野英二 教授 記念論文集

献 辞

大野英二先生は、本年10月20日に63歳の誕生日をお迎えになり、来春3月31日をもって本学を退官されることになりました。

先生は、昭和20年に京都大学経済学部を卒業されて、研究生活にお入りになり、翌年には経済学部助手に就任、講師・助教授を経て、昭和41年からは経済政策講座担任教授として研究・教育に力をつくされ、本学部の発展に貢献されました。

先生のご研究は、ドイツ金融資本の分析から出発して、ドイツ資本主義の総合的な解明へと発展し、その間、『ドイツ金融資本成立史論』（1956年）、『ドイツ資本主義論』（1965年）、『現代ドイツ社会史研究序説』（1982年）等のご労作を発表され、ドイツ資本主義研究に不朽の足跡を残されました。さらに、近年の先生のご関心は経済学の枠では収まりきれない広い領域に及び、一方では経済史をより大きな社会史の中に埋めこむ作業に取り組まれるとともに、他方では『河上肇全集』の編集や雑誌『歴史と社会』の編集に参画されて、近代日本及び世界の社会思想にも研究の射程をのばされており、先生はいまや人間と社会との関わり全体を研究領域に設定されつつあります。

先生はまた、日本やドイツの関係学会や研究団体において指導的役割をはたされ、国際的に若々しい芽を育てられました。先生の門下から優れた研究者が数多く輩出し、先生は教育者としても、すばらしい業績をあげられました。

行政面では、昭和40年代から50年代にかけて、先生は京都大学評議員、経済学部長の重責を担われました。きわめて苦しい時期に本学部を支えられたことに対する本学部構成員の感謝の念はまことに深いものがあります。

京都大学経済学会は、先生の多年にわたる学恩に謝意を表すべく、『経済論叢』の月号を記念号として編集することになりました。先生のご指導を受けられた方々の意欲的な労作を集めて、ご退官を記念する論文集を編み、先生に捧げることができましたことは、わたくしども一同のこの上ない喜びであります。

先生が、今後ますますご清祥におすごしになり、ご研究を発展されますことを心からお祈りいたします。

1985年10月20日

京都大学経済学部長 山 田 浩 之